

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800018
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム みさき
所在地	鹿児島県出水市庄850-3 (電話) 0996-64-2780
自己評価作成日	平成26年2月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は家族との連携が上手くいっており、2ヶ月に1度の割合で開催している運営推進委員会においては、行事や施設運営に関しての意見やアドバイスを頂き、参考にしている。特にリーダーを務めている方には頻りに足を運んで頂き、さまざまな点で協力を得ている。年間行事であるバラ園見学や敬老会、忘年会には全員の参加を頂き、施設、家族、入所者との繋がりが上手く働いている。家族会あつての入所者であり、さらには良い支援に繋がって行くものと思う。今後も家族会との繋がりを大切に、心安らぐ施設でありたいと努力している。

- ・理念には「慣れ親しんだ地域の中で安定した生活が過ごせる」ことを掲げている。利用者が「嬉しい」と思える支援をめざし、職員自らこのグループホームに入りたいと思う施設をイメージしながら、支援に取り組んでいる。
- ・自治会に入り地区の奉仕作業に職員が参加したり、小学校の運動会を見に行ったり子供達が手づくりの物を持参して遊びに来たり、地域住民がホームで行なわれる行事などに参加し、地域と触れ合っている。
- ・運営推進会議は定期的開催し、会議では活発に意見交換が行なわれている。施設をとりまく地域情報の話しもあり、地域全体で独居高齢者の取り組みをしており、緊急時の備えとしている。
- ・ホームでの災害・緊急時の対策も自主訓練や消防署を招き近所の住民や地域関係者などを交えた訓練をしている。緊急通報システム、スプリンクラーの完備、災害時の備蓄もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員で話し合い作り上げ、フロアーの見やすい所に掲示し、実践出来るように努めている	利用者から「嬉しい」と感謝される介護を目指し、自分が入居したいホームをイメージして、職員みんなで理念を考え、理念を壁に掲示し、ケアの基本にして介護の現場で実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の消防団、自治会長と合同避難訓練を行ったり、自治会長民生委員には毎回運営推進委員会にも出席頂き、地域と交流が持てるように努めている。	自治会に加入し、職員が奉仕作業をしたり、ホームで行なわれる敬老会には、地域から家族で参加されたり、近所から野菜や果物の差し入れがある。小学生が花や自分達で作った作品を持ってきたり、学校の運動会を見学に行くなど、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症について理解や支援が得られるよう、地域の消防団や自治公民館長に認知症サポーター養成講座を受講して頂いた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>施設の活動状況や取り組みについて報告し、意見や指導等を受けてサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は定期的に行っている。ホームや利用者の現況報告や消防訓練の報告等を行い、地域との情報交換をし、サービスの向上に活かしている。また、地域の独居高齢者への、緊急時の対応についても、協議するなど、ホームの役割を幅広くとらえている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>取り組みや疑問、難題に対して相談したり、指導を受けたり協力を得られている。</p>	<p>便り「ひなたぼっこ」を持参して、更新申請時に話したり、電話などで問題点や疑問点など相談を行なって協力関係を築いている。会議や敬老会など機会あるごとに参加を呼びかけ、出席してもらい現状報告や情報交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束を行わないケアに取り組み、利用者が思いのまま生活できるように心掛けている。門の外は三号線に面していて危険を伴う為、閉めてはいるが、敷地内は自由に出入りが出来るようにしている。</p>	<p>「身体拘束はしない」を常に認識し、具体的な行為や身体的・精神的苦痛を、研修や勉強会・会議を通して、意識を高め確認し、拘束のないケアに取り組んでいる。玄関の施錠もなく、自由に出入りができるようにしている。外出希望者も要因を把握し、さりげなく対応している。言葉かけにも馴れ合いにならないように注意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	勉強会を行い、知らず知らずの内に虐待に繋がるケアを行っていないか、言葉使いは正しく成されているか再確認を行い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度について理解してもらい、今後必要性のある方に対して支援できるよう行政の方を招いて勉強会を行った。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	施設に関する説明を充分にした上で、入所される前に契約書に基づいて再度説明を行うことで、理解と納得を得て契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会の代表者を中心に、年3回開催してもらい、出された意見や要望を反映出来るよう努めている。意見箱も設置しているが、殆ど使われないことが無いために面会に来られた際、利用者の様子を報告したり、会話を持つことで意見や要望を聞けるように努めている。	バラ園見学の時期や敬老会・忘年会の時など、家族会を開催し事業所の状況や利用者の日頃の活動を報告したり、家族の意見を聞いている。日頃の面会の時も家族と話しができるようにして、利用者の状況や家族の意見を聞いて、必要に応じて申し送りノートに記録し、運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案は常に聞き、スタッフ会議等で全体の同意を得た上で、反映出来るように努めている。	会議などで意見を聞いたり、日常の支援中の疑問点などがあれば管理者に相談し、職員で話し合っている。職員からの提案があり、ケアの必要性に応じ、家族の了解をもらい特殊寝台の購入をしたり、職員の休暇や緊急時の勤務の組み換えなど、職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	働きやすく向上心が持てるような環境作りに努め、職員の実績、勤務状況を把握し、条件の整備等を改善できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が外部研修を受けられる様にし、学んだ事をスタッフ会議の中で報告し、全員が共有できるようにしている。法人内の研修や、外部から招いての研修にも取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設見学や研修の受け入れなど積極的に行うようにしている。又他の施設の行事にも参加させて頂くなど、常に交流を持ちサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今まで培ってきた本人の人生を労い、本人の身辺状況や家族の事を聞きながら雑談を交え楽しい雰囲気作りに努めている。顔の表情や行動に目配りし、無理強いしないよう声掛けしながら安心感を与えられるよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までの生活状況や経緯を聞き情報を得ながら家族の悩み要望等をプランに取り入れ施設も一緒に頑張って支援して行けるように努力し、又、施設での状況を定期的に連絡し理解を得ながらコミュニケーションを取っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々の生活の中で最も大事な支援は何かをスタッフ会議でカンファレンスを行っている。又、ヒヤリハットの発生に注意し、申し送りで周知してもらっている。重要項目として取り上げ支援の向上に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物干し、畳み、イリコの下処理等生活に関わる事を手伝って頂いており、「自分も役に立っている」という意識を持ち「手伝いましょうか」との言葉も聞かれるようになった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>四季折々の行事を計画し参加して頂き、その後の家族会や慰労会等で色々な話し合いや意見等出して頂き本人、家族、施設との関係を深くしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>通院などで外出の際に遠回りして、本人の住居周囲や馴染みのあった場所をドライブして思い出したりして頂くように努めている。</p>	<p>知人や友人などの面会が多く、お茶を飲みながら楽しく過ごしている。馴染みの人との電話やはがきでの交流も支援している。希望を聞いて、職員と一緒に生まれ育った地域に出かけたり、家族と墓参りや理・美容室に出かけたりしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>毎日の体操、レクリエーションは椅子を円形にし、皆の顔が見えるようにして顔馴染みになって頂くようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院、退院時の本人、家族の方との連絡、訪問は絶えずさせて頂き、相談なども出来る限りの支援をさせて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族の面会の度に、日頃の様子や生活ぶりを報告しながら、家族からも本人の思いを聞き取り、又、毎日を共に過ごす中で本人の意向を聞き取ったり、表明出来ない方には試行錯誤して感じ取り支援している。	コミュニケーションを大切にして、一人ひとりの思いや意向を把握している。食後のひとときや入浴中の会話が弾む時などのゆっくり会話する時間を設けて聞いている。意思疎通が困難な利用者には、家族から自宅での生活歴や意向などを聞き、職員で話し合い、本人中心のケアができるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からは勿論、これまで関わりの合った施設やケアマネジャー、家族などからの情報を得て、施設での生活のあり方に工夫して行くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	管理するのではなく、一人一人の個性や好み、残存能力等を大切にしながら日々の暮らしの中で活かして行けるようにスタッフ全員で話し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	心身の状況の変化に伴い、個別援助計画を見直したり、本人の状態に適した計画かどうかを毎日の申し送りの中で検討し、その結果を家族に報告し、協力を仰いだりしている。	ホームで自由な思い通りの生活ができるように、身体的・精神的な状況把握をして、介護計画を作成している。現状にあったプランになっているか、モニタリングを行い、必要があれば臨機応変にプランの見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りや日誌、職員間のカンファレンスにより、入所者のお一人お一人の心身の変化にあった対応が出来るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設ではあるが、自分の家庭に居るような雰囲気作りに心掛け毎日のを穏かに過ぎて頂けるように管理し過ぎないケアを目指してしている。		
29		○地域資源との協働 八戸市の春の力を元としている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃から地域資源についての情報を把握した上で、個人に必要な支援を利用することで、より一層生活の質の向上を目指して行けるように努力している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設で「かかりつけ医」を強制すること無く、ご本人達の納得のいく「かかりつけ医」に月2回程度の往診を依頼したり、家族と共に受診したりして安心して生活できるように支援している。	本人・家族の希望を聞いて、今までのかかりつけ医を優先している。家族と受診したり職員の支援もしている。かかりつけ医の往診や協力医療機関の往診・専門医との連携も行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入所者の体調には常に気を配り、変化がある時には看護師に報告。必要時はかかりつけ医を受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病医院とも連携を取り、入院中の状況や退院に向けての情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化、終末期ケアについては家族に説明。頻回に相談を重ねながら意向を確認している。</p>	<p>入所時に事業所の方針を説明して同意を得ている。食事が経口摂取できるまでは、事業所で、できる限りのケアに努めている。重度化に伴うケアについては、家族と医療と事業所で細かく連携して、共有しながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急蘇生法やAEDの使用法について、消防署の協力により指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や地域の消防団の協力を得て、避難訓練を実施している。	非常時の通報装置や消火器、スプリンクラーの設置がされている。年1回消防署の協力を得た避難訓練が近隣住民も参加して実施されている。自主訓練で昼夜を問わず避難できるようにしている。災害時の備蓄もある。隣接している温泉施設からの協力を依頼している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であるという尊敬の意を持って、言葉使いに注意しコミュニケーションを取っている。又、自尊心を傷付けないよう配慮して声掛け対応している。	個人情報保護に努め、プライバシーを守っている。研修や勉強会で知識を深め個人の人格や尊厳を大切にしている。排泄の失敗やトイレ誘導など、周りに気づかれないように配慮して、さりげない気配りの言葉かけや支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	施設内で出来る限り自由に行動生活出来るよう、意思を再度確認し支援している。その際はスタッフが目を離さず、且つ自己尊重を損なわないように注意し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中のレクリエーションには参加したい方のみ参加、自室で過したい方は本人の希望を優先している。又、リビングでのテレビ視聴や日向ぼっこや民謡等を聴いて頂いたりと環境を整えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で服を選んで頂いたり、欲しい服や化粧品などは家族に相談、購入してもらったり、2ヶ月に1度はカットを依頼して清潔やおしゃれの面でも支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	刻み食の場合も彩りに配慮し、誕生会にはケーキや刺身など用意し喜んで頂いている。片づけやテーブル拭き等できる事は一緒に取り組んでいる。	食事が楽しくできるように利用者も一緒になり会話をしながら米とぎや野菜の下ごしらえなどをしたり、配膳や下膳・茶碗洗いなどを行っている。行事食や季節に応じた食事を工夫したり、利用者の嗜好を把握し、好みに応じた個別的な食事にも対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取や食事量を記録し把握することで体調管理を行い、不足分の捕食、捕水などに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前後お茶にて口腔ケアを実施している。歯磨きの一部介助を行ったり、夕食後は義歯の洗浄剤ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人別の排泄量、時間など記録し把握している。食事や就寝等の前にはトイレ誘導を行い、排泄リズムを持って頂くように、下剤服用やオムツ使用に関しては看護師を含め検討して対応している。	一人ひとりに合った排泄ケアをめざし、個人の排泄パターンを日頃から把握できるように記録している。排泄の自立を促がす支援に努め、自尊心や生活への意欲をなくさないようにオムツの使用も減らすようにしている。皮膚疾患がある利用者には、適度な温湿のタオルで対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録、水分や食事摂取量を把握し、又、リハビリ体操等運動を支援し転倒や体調悪化予防に努めている。水分不足分は補助し、便秘の度合いにより主治医に相談。下剤などの服用を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴時には声掛けや誘導を行い、バイタルチェックをして体調不良や拒否がある時は状態が落ち着いてから観察しつつ対応している。失禁など汚染した場合は陰洗やシャワー浴で対応している。	気兼ねしないような自然な形で入浴できるように声かけしたり、希望やタイミングをみて誘導している。週3回を基本にしているが、希望により曜日や時間の変更もして、本人のペースに合わせて入浴を楽しんでいる。同性介助を対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床は一人一人のペースに合わせている。トイレ介助の必要な方にはセンサーを使用し転倒防止に努め、急がせない声掛けをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のファイルに説明書を入れ、いつでも見れるようにしている。服薬時は、氏名、日付、朝夕の確認を行い誤薬が無いように、又変更があった場合は申し送りシートなどで確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の挨拶や声掛けなど、同じ目線に対応し、コミュニケーションを取っている。利用者の出来ることは率先してやって頂き、満足感や達成感が持てる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は共に園内を散歩したり、外のベンチで日光浴を行っている。又季節の花見や鶴見学も行なっている。家族にも協力して頂き、外出や外泊が出来るように努めている。	日常的には事業所の周りを散歩したりドライブをして外出を楽しんでいる。家族と一緒に、墓参りや買い物・外食に出かけたりしている。家族が都合などで行けない場合は事業所で支援している。季節により、花見や鶴を見に行ったり、地域の行事に参加をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理が難しいため、基本的には家族に管理を依頼、家族と外出の際、本人の希望の物や必要な物を買って頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や大切な人から送り物や手紙が届いた時には、お礼の電話をして頂いたり、電話をもらうと取り次いで話をしてもらったりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内はバリアフリーとなっており、転倒の危険が無い造りとなっている。広々としたリビングや廊下、食堂でゆったりと過して頂き、施設内に居ても季節感を味わえるように季節に応じたカレンダーや壁飾り等も配置している。	リビングは広く、畳の談話スペースやソファが置かれ、好きな場所でゆっくりとくつろげる。台所はリビングの中央にあり調理の流れが見えるような設計になっている。季節に応じた壁の飾りつけやテラスがあり、そこへベンチが置かれ、自由に外の風景が眺められる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>随所に設置されたソファやベンチ、窓際や個室等、利用者の居心地良い場所で過して頂き、落ち着いた生活が出来るようになっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>心身の状況に応じた部屋割やベッドの種類、配置など常にカンファレンスを重ねながら考慮している。体調の変化により危険は無いか観察をし、居心地良く過して頂けるように努めている。</p>	<p>本人や家族から希望を聞いて、自宅で使い慣れた身の周りの道具や仏具などが部屋に持ち込まれ、落ち着いた部屋に整理されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒の危険が大きい方は常に目の届く範囲で、自立できる部分があったり、理解出来る方については手を出し過ぎないケアで見守りして安全に生活して頂けるように努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない